松山東雲女子大学
松山東雲短期大学

PRESS RELEASE

報道関係者 各位

2026年11月25日

取材のお願い

ともに創立140周年。
桑原小学校バザーで「遊びながら学ぶ防災」ブースを出展
～保育科学生が手づくりした「防災かるた」をミニカードにして配付～

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学は、11月28日（土）開催の140周年記念 桑原小学校バザー「くわっこわくわくタイム」に防災関連ブースを出展します。

本学園と桑原小学校がともに創立140周年を迎える節目であり、普段から児童と本学生が学びの連携をしていることから実現した地域連携企画です。当日は、新聞紙での防災グッズ制作やリュックの中身選び、危険探しのまちがいさがしを通じ、地域の子どもたちが災害時に自ら身を守る力を楽しく学べる体験を提供します。

◆ 出展の概要

- 日　時：2026年11月28日（土）12：00～14：30（受付12：00～）
- 会　場：桑原小学校（松山市桑原3丁目7-27）　南運動場（本学ブース「防災を学ぼう」）
- 主　催：桑原小学校PTA
- 出　展：松山東雲女子大学・松山東雲短期大学
- 対　象：どなたでもご参加いただけます

【出展内容】
- 体験コーナー：新聞紙で防災グッズをつくる／非常用リュックの中身選び／危険探しのまちがいさがし
- 防災用段ボールベッドの展示：避難所で使われる段ボールベッドを体験できます。
- 「防災かるた」の展示・ミニカード配付：保育科の学生が手づくりした防災かるたを展示し、ミニカードにして配付します。

◆ 保育科の学生がつくった「防災かるた

絵札・読み札は、保育科の学生が一枚ずつ手づくりしたものです。遊びながら、いざというときの行動が自然と身につくよう工夫しました。附属のこども園の年長児と実際に遊んだ際には、読み札が読み上げられると子どもたちが一斉に札を探し、見つけた札をうれしそうに高く掲げる姿が見られました。

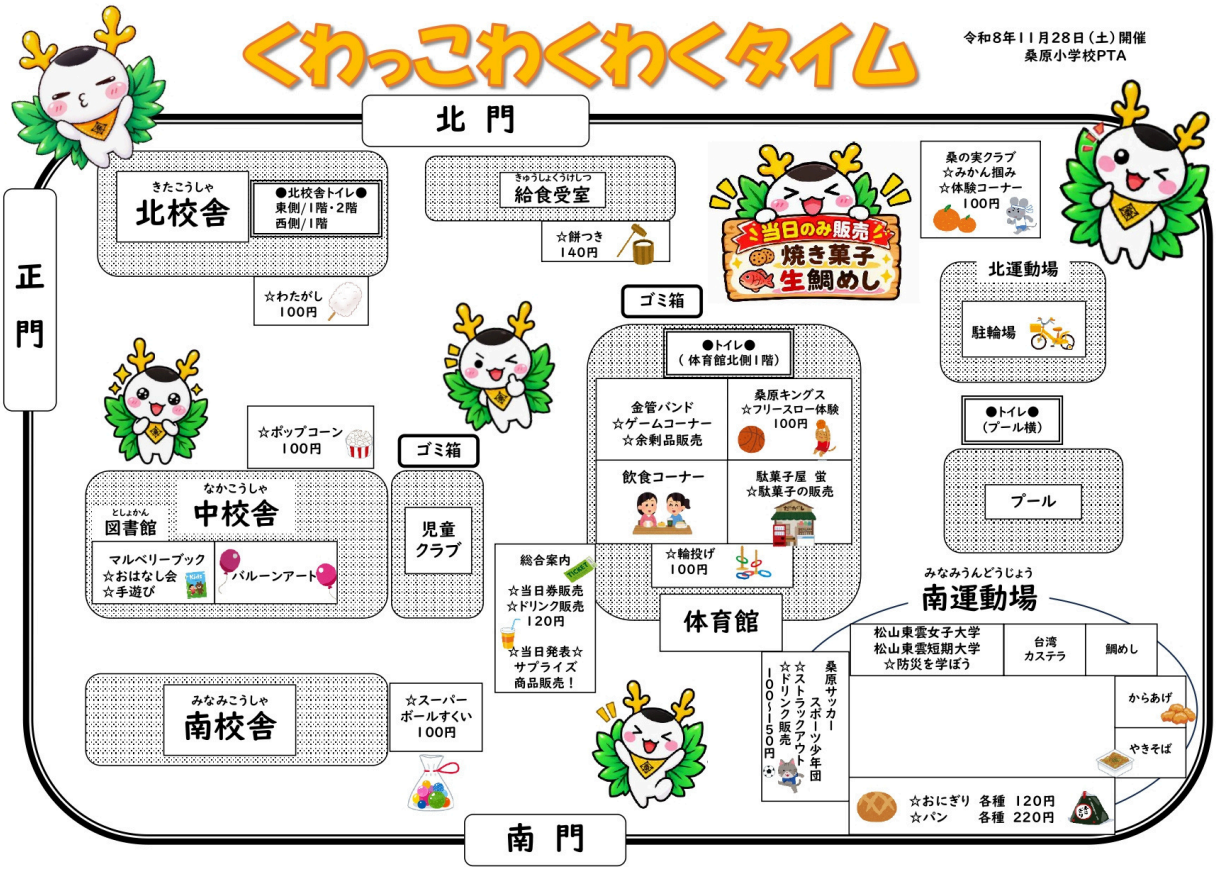


この活動は、保育学生地域実践プロジェクト「Kids Link」の一環です。学生が主体となって地域に出ていくことで、次の3点を進めています。
- 実践力と専門性を備えた保育者を目指す学び
- 遊びと防災を組み合わせた子育て支援
- 地域とつながり続ける学びの仕組みづくり



※この活動は、愛媛県「三浦保」愛基金：社会福祉分野の助成を受けて実施しています。





※ ご取材いただける場合は事前に広報担当者までご連絡いただけますと幸いです。

【お問い合わせ】
松山東雲女子大学・松山東雲短期大学
広報：河淵
TEL：089-931-6211（代）
Mail：kouhou@shinonome.ac.jp